

## 目標達成計画

作成日:平成22年6月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・身体拘束をしないケアの実践 立地条件から出入り口の施錠は行わざるを得ない状況だが、時間を決めて玄関等を開放し拘束感の無いように努めている。	利用者の心情を理解し、希望によりいつでも外へ気軽に出入りできるよう、時には一緒に散歩したり、付かず離れずの見守りで、自由な行動が取れるよう、圧迫感の無い対応に心がけ、ケアの質を高める。	・身体拘束禁止と高齢者虐待の研修をグループワークを通して勉強する。5月21日実施。 ・介護現場に携わる職員を対象にした接遇研修に参加。7月15日予定。 ・勉強会での発表を通じ、全員で職場の現状分析をし、今後のケアに活かしていく。8月上旬予定。	4ヶ月
2	32	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援に関する説明は、当事業所で出来ることを十分に説明し、方針を共有し支援に取り組んでいるが、施設としての指針を作成し、書面で意向確認を行えるような体制ではない。	医療法人のグループホーム施設であるため、病院との連携をとっていることをふまえ、指針を作成し、書面にて意向の確認を行える体制の整備をしていく。	4月より共和会組織としてのグループホーム指針を作成する事に取り組んできた。書面にて意向確認の整備を行っている。幾度か検討会議を設け、6月26日に実施する家族会・地域運営推進会議にて、指針の説明をし、書面にて確認体制を取れる段階となった。	3ヶ月
3	35	・災害対策 年2回消防署の協力により併設施設と合同で行っているが、夜間帯は職員が一人体制のため不安を感じている。近隣の方々と常に協力体制をとる必要がある。	火元責任者を決め、消防署主催の安全管理研修会に参加する。火元責任者より指導、説明により安全対策をとっていく。 夜間帯の災害を想定した訓練を行う。	6月15日に、グループホーム内部での夜間一人体制を想定した、火災発見から応援者がかけつける迄の優先手順を踏まえた訓練を行う。10月予定で、近隣住民との協力体制及び情報交換を進めていく予定。6月26日の家族会・地域運営推進会議では、6月15日に行った訓練内容について発表・意見交換を行う。目標 については5月22・23日に研修終了。	12ヶ月
4	7	・運営に関する職員意見の反映	管理者と職員の個別面談による労働・環境条件に関する意見の把握に努める。	年2回、6月と12月に個別面談を実施する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。